

➤ 「復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業」による講演会を開催しました。

5月22日(金)に本校北体育館において、末廣酒造株式会社代表取締役社長新城猪之吉氏をお招きして、福島県復興と未来を担うグローバルリーダー育成事業による講演会を開催しました。

講師の新城氏は地域の産業界のリーダーとして国内はもとより、海外においてもその事業の手腕を発揮されている方で、今回は「青年よ 海外へ飛び出せ」という演題で、ご自身の豊富な体験をもとに、示唆に富む講演をいただきました。

新城氏は、講演の中で、「コミュニケーション能力の重要性」や「歴史に学ぶことの意義」「地域の歴史を知ることの重要性」さらには、「自分の国・地域・学校の誇りを持つことの大切さ」などについて、実際の体験をもとにお話をされ、生徒にとっては興味深いお話ばかりで、多くの生徒の共感を呼んでいました。特にこれから海外に活動の機会を求めたいと考えている生徒にとっては、まさにグローバルな活動のモデルとなるような氏のお話であり、大いなる刺激を受けていました。



以下に、生徒の感想の一部を紹介したいと思います。

今日の講演を聴いて『世界』のことについていろいろなことを学びました。

その中でも一番重要だと思ったのは、外国に行くにあたって大事なのは『英語がしゃべれること』だけでなく、『自己主張』ができることや、日本の文化、歴史などの日本についてしっかり知っておくことだということです。たとえ英語がしゃべれなくても、めげずに自分を表現することができれば、何かしら伝わるものがあるということが分かりました。

(1年 女子生徒)

新城さんの世界に向けてではなく、宇宙に向けての思考がすごいと思った。また、なれない外国に行くことに躊躇せず、そこで自分の良さを発揮できる力もすごいと思った。多くの海外の友達もそのような力を持っている新城さんだからできることだと思った。たとえ自分の話したい言葉の文法が分からなくても、話をすることで何かを伝えようとする必要があると思い、何事にも失敗を恐れずにトライすることが重要だと思った。

(1年 男子生徒)

海外との関わりを持つためには、自分の地域のことをよく知っておかなければならないことを実感した。また、グローバルとは、いかに英語を上手に話せるかということではなく、いかに自分を表現するかということだと思った。そして、学問においては、歴史を学ぶのではなく歴史に学ぶのだということを知った。たくさん  
のことを学ぶことによってこれからの自分の選択が変わっていくので、より深く、真  
剣に学んでいきたいと思った。

(1年 女子生徒)